

2014年1月6日

## イビデン株式会社 竹中社長の年頭挨拶

2014年1月6日午前7時50分より、各事業場に全役員が出向き、従業員を前に竹中社長が年頭の挨拶を行いました。また、テレビ会議システムを利用し、海外拠点(フィリピン、中国・北京、韓国、マレーシア、フランス、ハンガリー)との新年互礼会も執り行いました。要旨は以下の通りです。

\*\*\*\*\*

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年の世界経済では、米国は回復傾向にあったものの、欧州は低迷から抜け出せず、新興国も成長率が鈍化し、総じて厳しい一年でした。一方、国内においては、アベノミクス効果で景気が持ち直し、さらに2020年東京オリンピックの招致も決定し、久々に明るい希望の持てる年になりました。

当社ではリーマンショック以降、市場の変化に対応し、事業の構造改革や海外生産の強化に取り組んできました。2013年度は、新中期経営計画「Challenge IBI-TECHNO 105 Plan」をスタートさせ、ライバルに打ち勝つ「競争力の強化」を全社方針に掲げ、「現地現物」「自掛り」を基本に原価低減への高い目標に取り組んできました。その結果、従業員のスキルが向上して成果が出始め、さらにモチベーションも向上するという、職場に好循環が見られるようになりました。13年度も残すところ3ヶ月ですが、手を緩めずに業績目標を達成させたいと考えています。

2014年も市場環境は厳しいものと予測されます。「競争力強化」に継続して取り組んでいきますが、中期経営計画の目標を毎年確実に達成していくために、次の5つの課題を認識し、共有していきたい。

- ①マレーシアとメキシコをはじめとした大規模な設備投資の確実な立上げ
- ②事業の競争力強化につながる生産プロセスの改革
- ③グローバル展開が強化されるなかで機能部門の効率化と機能の向上
- ④国内グループ会社の収益力強化に向けた事業体制の抜本的な見直し
- ⑤2017年(中期計画最終年度)に向けて、会社を支える新製品の開発

これらの課題を着実に乗り越え、当社を新たな成長軌道に乗せていきたいと考えています。

本年もまた、全従業員が健康で 前進してくれることを祈念し、新年の挨拶といたします。

以上